

平成 30 年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター  
指定管理者管理運営状況調書

担当課 高齢者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用を確保するものであること	①利用者の平等利用の確保	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①サービスの改善、向上（質の確保）のための方策	B	B	
	②生活指導や適切な日常動作訓練等のための方策	B	B	
	③養護の具体的な方策	B	B	
	④介護に対する家族との協力等についての具体的な方策	B	B	
健康管理が適切であること	①適切な健康管理のための方策	B	B	
衛生管理が適切であること	①適切な衛生管理のための方策	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための方策	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①適切な苦情解決のための仕組み	B	B	
	②施設の安全管理のための方策	B	B	
	③防災・防犯のための方策	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取り扱い等の経理処理が適切に行われるための方策	B	B	
管理経費の縮減が図られていること	①管理費縮減のための方策	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際し、地元業者へ配慮すること	①地元住民の雇用計画、物品及び役務の調達に係る地元業者への配慮について	B	B	

事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①職員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成について	B	B	
<p>総合所見</p> <p>当該施設は、平成 26 年度から完全利用料金制による運営を行っている。30 年 12 月末現在の登録者は 65 人、延利用者数は 4,590 人で昨年度の同時期と比べて登録者は同数、延べ利用者数で 147 人の減という結果となり、介護保険収入では 780 千円の減額となっている。</p> <p>登録者数は各月で変動があり、長期的な利用者数を見通せない部分がある。29 年度はインフルエンザの流行により、感染していない利用者の方にも大事をとって利用を控えていただくように対処したことから、1 月から 3 月までの利用者数が落ち込んだ。30 年度も 12 月末で利用を終了する方がいることから、1 月及び 2 月の利用者数を減で算出し、介護保険収入は年間合計 42,253 千円と見込んでいる。その他収入と合わせ収入合計は、42,560 千円となり、29 年度の実績額と比較すると 240 千円の減額となる見込みである。</p> <p>支出に関しては、人件費が 830 千円及び福利厚生費が 464 千円の減額、給食費が 469 千円及びその他支出として車両関係費及消耗器具備品の合計 310 千円の増額となり、支出合計が 42,749 千円となり、収支の差額は、189 千円の赤字となる見込みである。</p> <p>業務内容に関しては、手洗い、うがいを徹底し感染症予防に努めていること、血圧等の測定を毎回行い健康チェックしていること、連絡帳により利用者家族へ健康状態を報告していること、送迎時には介護職員を同乗させるなど安全面にも配慮した適切な対応を図っていることなどから、仕様書に基づいた運営を行っていることが確認できる。</p> <p>以上のことから、指定管理者として問題がないものと判断する。</p>				